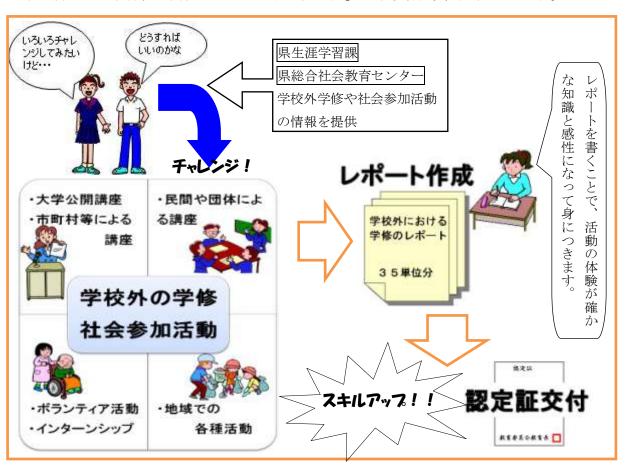
巻末資料

1 青森県教育委員会の子どもの体験活動に係る取組

高校生スキルアッププログラム推進事業

○高校生スキルアッププログラム推進事業…高校生の知識や経験の幅を広げるために、 学校外における学習活動への積極的な取組みを促進する。(平成19年度~)

具体的には、各種機関が実施する公開講座や講演会等の「学校外学修活動」や、ボランティア活動や体験活動等の「社会参加活動」に積極的に取り組み、レポートを作成するなど所定の基準を満たした場合、「高校生スキルアップ認定証」を県教育委員会が交付します。



学校外での学修・体験活動によって期待される効果

- ▼視野が広がり、人間性が豊かになる
- ▼学びや実生活への関心・意欲が高まる
- ▼経験に裏打ちされた確かな感性・知識を持つことができる
- ▼異なる立場や年代の人々との交流により、社会性が育つ
- ▼現代的課題(環境問題、地域の連帯、高齢化社会、国際貢献等) への理解が深まる
- ▼進路目標達成の一助となる
- ▼学校と地域相互の理解と協力関係が深まる

参加高校生状况 (H22.3.1 現在)

参加高校数

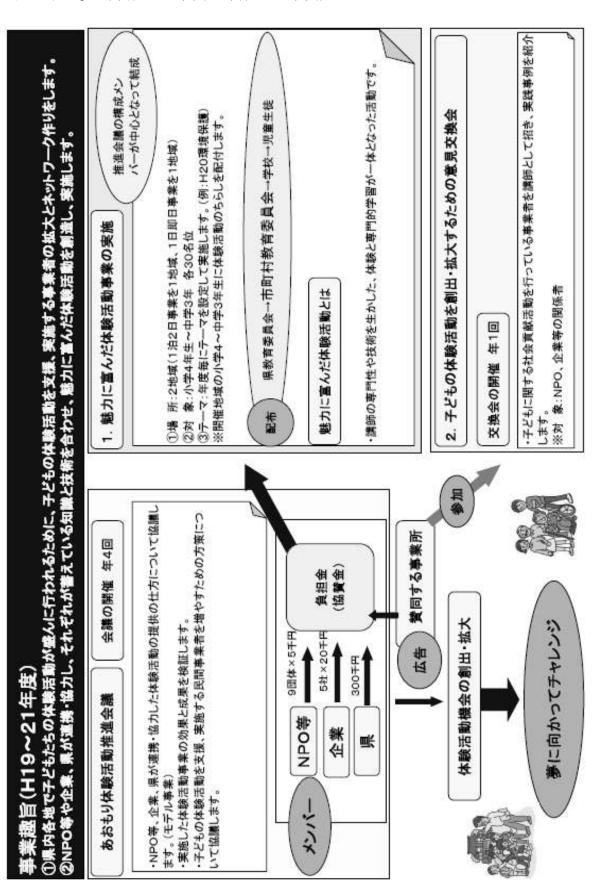
28校

参加生徒数

2, 457名

チャレンジ体験スクラム事業

〇チャレンジ体験スクラム事業…NPO、企業等と連携・協力し、多様な体験活動を 実施する。(平成19年度~平成21年度)

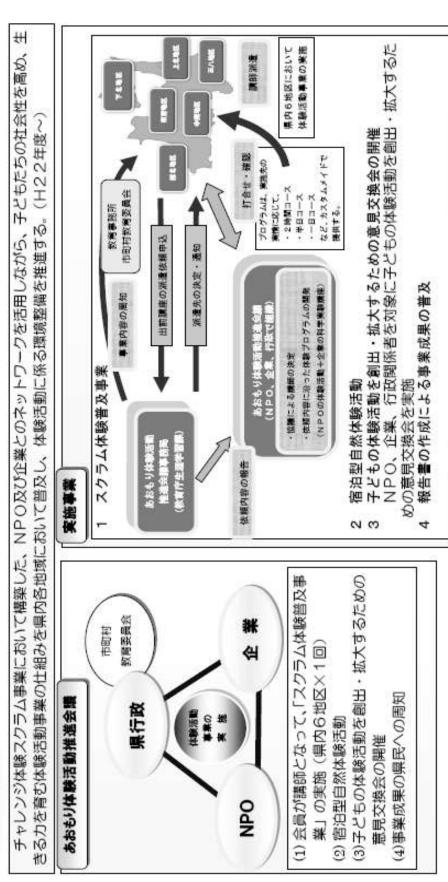


スクラム体験推進事業

スクラム体験推進事業

春林師匠

〇スクラム体験推進事業…平成 21 年度まで実施した「チャレンジ体験スクラム事業」 の成果を継続・発展させる。(平成 2 2 年度~)

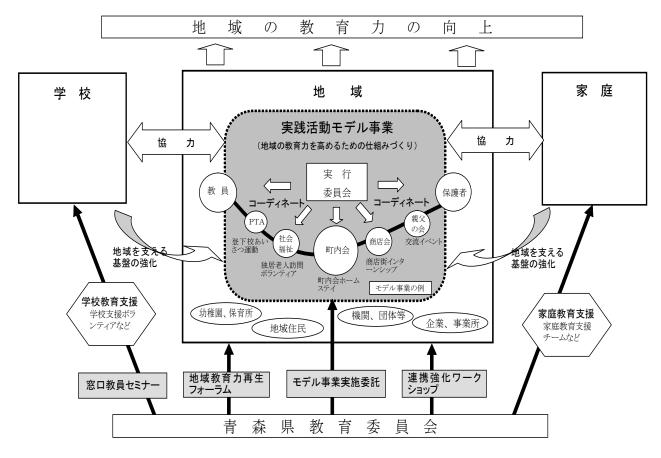


子どもの夢・社会性を育む体験活動機会の拡大

子ともを育む地域づくり推進事業

〇子どもを育む地域づくり推進事業…地域の教育力を高めるため、地域ぐるみでこどもを育む機運を醸成するとともに、地域社会を構成する個人や団体・機関等相互の連携を強化する仕組みをつくる。(平成21年度~)

◇事業実施体系図



◇実践活動モデル事業(県内6地区)のねらいと概要



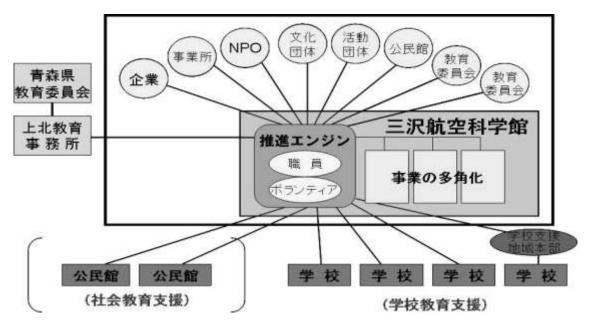
教育支援プラットフォーム調査研究事業

○教育支援プラットフォーム調査研究…地域全体で子どもたちを育む社会を構築するために、学校、社会教育関連施設、社会教育関係団体、企業等を結び、地域の実情に即したネットワーク型教育支援プラットフォームの構築を目指し、調査研究する。(平成22年度~)

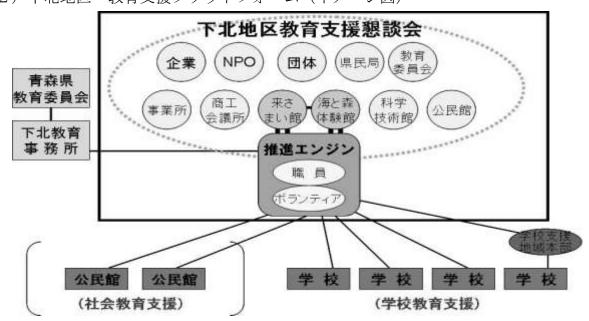
教育支援プラットフォームとは?

学校や家庭、地域等において、様々な教育活動がより有効に行われるよう、子どもたちに関わる多様な機関や教育活動そのものを、中間的支援機関を中心にネットワーク化し、学校教育や社会教育の場で行われる教育活動の企画から実施にいたる各段階において、必要とされる情報、教育資源活用のノウハウ及び人的支援などについて、総合的支援を提供するしくみである。

(1) 上北地区 教育支援プラットフォーム (イメージ図)



(2) 下北地区 教育支援プラットフォーム (イメージ図)



学校支援地域本部事業

〇学校支援地域本部事業…学校教育の充実、社会参加活動の場の確保、学校を中心としたいきいきとした地域づくりと地域の教育力の向上を目的として、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。(平成20年度~)

趣旨

子どもたちの健やかな成長のために、本県では、学校支援ボランティア活動を推進し、学校と地域が協働で子どもたちを育成する取組を進めている。文部科学省は平成20年度から「学校支援地域本部事業」を立ち上げ、地域ぐるみで学校を支援する体制をつくる事業を展開することとした。この事業は、多様な形態の教員支援を可能とすることにより、教員や地域住民が子どもと向き合う時間を拡充し、地域の教育力の向上を図るものである。

県では

運営協議会の設置

市町村に設置する実行委員会とともに、本県における学校支援ボランティア活動を推進し、地域ぐるみで学校を支援する体制をつくる。

研修と交流の実施

学校支援コーディネーター養成講座 県内6箇所×2日

学校支援ボランティア研修交流会 県内6箇所

振興策

学校支援ボランティア研究大会

学校支援啓発パンフレットの刊行・配布

退職教員学校支援人材センターの設置

学校支援コーディネーター及び担当者会議 年2回

広げよう 学校支援ボランティア

Ш

県から市町村 への委託

市町村では

実行委員会の設置

21市町村 44地域本部 97校区(予定)

対象校区に学校支援地域本部を設置し、学校と地域の連携体制を構築し、学校支援ポランティア活動の推進と地域の教育力 向上のための取組を行う。

※行政関係者、学校関係者、社会教育関係者、PTA関係者、地域住民等で構成

各校区では

学校支援コーディネーター の配置

地域の大人を学校支援ボランティ ア活動へ。学校の求める人材や活動 場の斡旋・調整。各校区に配置。



地域教育協議会の設置

学校のニーズと地域のニーズを見合わせ、主 体的な活動による学校支援のあり方を企画・立 案、事業評価を行う。

振風管

各学校支援地域本部の対象校区でのボランティア活動

各校区での活動紹介ニュース 学校ニーズ紹介、啓発

学習支援、環境支援 地域住民のできるところから活動を

学校支援ボランティア養成講座、研修会・交流会の開催

学校支援ボランティアの登録と保険

学校支援ボランティアテキストの作成

ボランティアバンク、プログラムバンクの作成運用

PTAとボランテイアが一堂に会しての研修会の開催

学校のニーズに応じた主体的な活動を!

学校外活動の引率補助、登下校の見守り、家庭科実習の指導補助、理科の実験のサポート、読み聞かせ活動、学校図書館 支援、ドリル学習の補助、放課後のクラブ・部活動の指導・支援、伝統芸能の指導、スキー教室・水泳教室の補助、放課後 の補修学習の指導、地域の歴史学習の指導、花壇整備の応援、庭木の手入れ、学習教材の作成・補修

放課後子ども教室推進事業(放課後子どもプラン)

○放課後子ども教室推進事業…放課後の子どもたちの安全・安心な居場所を設け、スポーツ・文化活動等の体験活動、地域住民と交流活動等の取組を実施する。 (平成19年度~)

趣旨

子どもを巡る痛ましい事故や連れ去りなどが後を絶たない現状の中、子どもたちの安全・安心な活動拠点づくりや地域の大人が見守る体制づくりが求められている。

国は、文部科学省が創設する「放課後子ども教室推進事業」と、厚生労働省の実施している「放課後児童健全育成事業」と合わせて、子どもたちの健全育成、次世代対策や子育て支援の一環として、すべての児童に対する放課後子どもプランを実施する。

16~18

地域子ども教室

〈地域子ども教室推進事業〉協議会委託事業により、県内32市町村136箇所開設

放課後児童クラブ

〈放課後児童健全育成事業〉間接補助により、県内28市町村213箇所開設

19~22

放課後子ども教室

《放課後子ども教室推進事業》間接補助(国1/3、県1/3、市町村1/3)により、 全国約10,000か所に放課後子ども教室を開設。 県内26市町村99教室(21実績予定)。

放課後児童クラブ

〈放課後児童健全育成事業〉間接補助(国1/3、県1/3、市町村1/3)により、 全国約25,000か所に児童クラブを開設。 県内29市町村224クラブ(21実績予定)。

「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業」は、県で窓口を一本化して、 国に補助申請、実績報告等を行う

県では

推進委員会の設置

「放課後子ども教室推進事業」と「放課後児童健全育成事業」 を合わせて、子どもたちの放課後対策の総合的な在り方を考える ※行政関係者(教育委員会・福祉部局)、学校関係者、社会教 育関係者、福祉関係者、学識経験者等で構成

指導者研修の実施

A コーディネーター研修 ①前期 青森市内 ②後期 県内2箇所で開催 B 指導員等研修 ①県内6地区 年2回開催

〈対象〉放課後子ども教室関係者及び児童クラブ関係者

市町村では

運営委員会の設置

放課後子どもプランを策定し、放課後子ども教室と児童クラブを合わせて、小学校区ごとの円滑な放課後対策事業を実施する ※行政関係者、学校関係者、放課後児童クラブ関係者、社会教育関係者、児童福祉関係者、PTA関係者、地域住民等で構成

放課後子ども教室の開設

地域の大人の協力を得て、学校の余裕教室や校庭、社会教育 施設等に子どもの活動拠点を設け、すべての児童を対象に様々 な体験活動を推進

※安全管理員を配置

放課後児童クラブの開設

保護者が労働等により昼間家庭にいない児童が、基本的に毎 日必要な時間に利用

※放課後児童指導員を配置



学習アドバイザーの配置

学ぶ意欲のある子どもたちへの支援

コーディネーターの配置

地域の大人を子ども教室や児童クラブの支援に 各小学校区に配置し、放課後子ども教室と児童クラブを 支援



第29期青森県社会教育委員の会議

調査研究テーマ「子どもの体験活動を支援する社会教育の在り方」

年 度	会議名	月日	案 件		
平成 20 年度	〇第 1 回全体会	12月24日	◇調査研究テーマについて ◇専門部会の設置について		
	●第1回専門部会	3月19日	◇調査研究テーマに対するアプローチについて◇調査研究の日程について		
平成 21 年度	●第2回専門部会	5月27日	◇調査研究の視点、目標設定について ◇調査研究の方法、項目について		
	〇第2回全体会	7月1日	◇調査研究の視点について ◇調査方法と調査項目について ◇実地調査事業の選定について		
	☆実地調査	8月~10月	◆8月1日~10月11日にかけて、県内1 8箇所の体験活動事業を実地調査		
	●第3回専門部会	11月18日	◇体験活動実地調査結果報告◇実地調査結果一覧について◇体験活動実地調査分析の方向性について		
	●第4回専門部会	1月20日	◇調査研究報告書の骨子について		
	〇第3回全体会	2月15日	◇調査研究報告書の骨子について		
平成 22 年度	●第5回専門部会	6月22日	◇調査研究報告書(一次案)について		
	●第6回専門部会	8月3日	◇調査研究報告書(二次案)について ◇来期に向けて		
	〇第4回全体会	9月24日	◇調査研究報告書(最終案)について◇来期に向けて		
	◎10月 8日 調査研究報告書完成◎10月 15日 議長が県教育委員会教育長に調査研究報告書を提出◎11月中旬 関係機関へ調査研究報告書送付				

社会教育委員による実地調査(訪問順)一覧

	体験活動事業名	訪問日時	地域	訪問委員	掲載
1	むつ市教育委員会	8月1日(土)	むつ市	向台 王口	P.20
	「初級ジュニアリーダー研修会」	10:30~12:00	(下北)	奥島 委員	
	おさるの森の探検隊	8月1日(土)	むつ市脇野沢	血白 禾品	P.40
2	「昆虫観察」	14:00~15:30	(下北)	奥島 委員	
3	NPO 法人 ジュニアグローバル	8月3日(月)	青森市	一條 委員 廣森 委員	P.24
3	トレーニンク゛スクール	11:00~13:00	(東青)	小山内 委員	P.24
4	七戸町社会福祉協議会	8月5日(水)	七戸町	秋庭 委員 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	P.48
	「子ども福祉体験スクール」	10:00~12:00	(上北)		
5	エーデルワイスの会	8月5日(水)	七戸町	 秋庭 委員 ・ 兎内 委員	P.22
0	エーテルワイスの云	13:00~14:30	(上北)		
	八戸童話会	8月7日(金)	八戸市	秋庭 委員 平間 委員	P.46
6	「森のおとぎ会」	10:30~12:00	(三八)	荒瀬 委員	
7	八戸市根城公民館	8月7日(金)	八戸市	秋庭 委員 平間 委員	P.34
,	「合同キャンプ」	13:30~15:00	(三八)	荒瀬 委員	F.04
8	蔵館スポーツ&チャレンジクラブ	8月10日(月)	大鰐町	 秋庭 委員 小笠原 委員	P.32
0	「野外キャンプ」	14:00~16:00	(中南)		
0	青森原燃テクノロジーセンター	8月11日(火)	東北町	小山内 委員 石原 委員	DEC
9	「サイエンスサマーキャンプ。」	11:00~13:00	(上北)	兎内 委員 一條 委員	P.56
	階上町教育委員会わんぱく	8月22日(土)	階上町	## XO Y	P.30
10	王国「ツリーイング体験」	10:30~12:00	(三八)	荒瀬 委員 兎内 委員	
		8月22日(土)	八戸市南郷	荒瀬 委員 石原 委員	
11	山の楽校	14:00~15:30	(三八)	兎内 委員	P.42
	よむよむ応援隊	8月26日(水)	藤崎町		P.36
12	「藤崎小朝読書」	7:50~10:00	(中南)	小笠原 委員 一條 委員 	
	あおもり体験活動推進会議	8月29日(土)	平内町	11. 다 중요	P.58
13	「ほたて養殖体験」	10:00~12:30	(東青)	秋庭 委員	
	HEP21エコクラブ	9月27日(日)	弘前市	一條 委員 小笠原 委員	
14	「交流まつり」	11:00~13:00	(中南)	小山内 委員	P.53
	八戸子ども劇場「三世代	9月28日(月)	八戸市	T == T = T = T = T = T = T = T = T = T	
15	交流人形劇鑑賞会」	10:00~13:00	(三八)	平間 委員 兔内 委員	P.44
16	10月2日(金)			永澤 委員 一條 委員	D 67
	鶴田町教育委員会	11:00~14:00	鶴田町	小山内 委員	P.27
	「にぎりまんま塾」	10月3日(土)	(西北)	W.E. F.P. 7.1 F.P.	
		11:00~14:00		小笠原 委員 兔内 委員	P.27
17	NPO 法人水辺の楽校まべち	10月6日(火)	八戸市	仙府 禾무 <i>岐</i> 夭무	P.38
	「下長中学校環境教育」	10:30~14:00	(三八)	秋庭 委員 一條 委員	
18	青森子ども劇場	10月11日(日)	青森市	小笠原 委員	D 50
	「稲刈り体験」	10:00~12:30	(東青)	小山内 委員	P.50

3 第29期青森県社会教育委員 名簿)

任期: 平成 20 年 10 月 19 日~平成 22 年 10 月 18 日

No.	氏	名	所 属 等	役 職
1	奥島	涼 子	むつ市立奥内小学校長	
2	永 澤	正己	板柳町立板柳中学校長	専門部会 委員
3	山本	隆悦	青森県立野辺地高等学校長	
4	秋 庭	隆貢	鶴田町教育委員会教育次長	専門部会 委員
5	一條	敦 子	弘前市社会教育委員	専門部会 委員
6	平間	恵美	八戸市立小中野児童館長 はちのへ子ども劇場運営委員長	
7	小笠原	睦男	元藤崎町教育委員会教育長	議長
8	荒瀬	潔	デーリー東北新聞社 取締役 販売・事業局長	
9	小山内	世喜子	青森県男女共同参画センター アピオあおもり副館長	副議長 専門部会長
10	石 原	慎 士	石巻専修大学 経営学部 准教授	専門部会 委員
11	兎 内	佐智子	公募委員 エーデルワイスの会代表	
12	廣森	直子	公募委員 青森県立保健大学 健康科学部 助教	

平成22年4月1日現在

子どもの体験活動を支援する社会教育の在り方

— 第 29 期青森県社会教育委員の会議 調査研究報告書 —

発行年月 平成22年10月

発 行 青森県教育庁生涯学習課

〒030-8540 青森市新町二丁目3番1号

Tel 017-722-1111 (内)5197

Fax 017-734-8272

http://www.pref.aomori.lg.jp/bunka/education/aomorimanabi-e_shogai.html

印 刷 青森コロニー印刷